

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 実習課題・記録作成		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 名地 宙	実務経験	ステップアップ相談員 3年 支援相談員 2年 生活相談員 3年 介護支援専門員 4年	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・通年	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 社会福祉援助技術・現場実習の整理・卒業試験準備を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・社会福祉援助技術・現場実習が滞りなく実施できるように、実習ノート整理を行う。 ・社会福祉援助技術・現場実習の報告ができる。 [授業全体の内容の概要] ・主体的な学びを軸として実習ノートを完成させる。 ・実習を振り返り、報告会の準備を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・適切な自己表現ができる。 ・自分の考えをまとめ、相手にわかるように発表できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 第1回 卒業試験準備 第2回 卒業試験準備 第3回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第4回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第5回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第6回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第7回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第8回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第9回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第10回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理		第16回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第17回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第18回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第19回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第20回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第21回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第22回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第23回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第24回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第25回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理	

<p>第11回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第12回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第13回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第14回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第15回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p>	<p>実習ノート整理</p> <p>第26回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理</p> <p>第27回 実習報告会準備</p> <p>第28回 実習報告会準備</p> <p>第29回 実習報告会準備</p> <p>第30回 実習報告会準備</p>
<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>東北福祉大学社会福祉援助技術・現場実習、課題ノート・実習ノート</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<p>・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。</p> <p>2. 平常点(15%) ・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。</p>

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策 I		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター19年	
授業の回数 60回	時間数 (単位数) 120時間 (4単位)	配当学年・時期 2年・通年	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] ・相談援助の基盤と専門職の基礎を再確認し、応用力をつける。 ・相談援助の理論と方法について基礎を再確認し、応用力をつける。 ・高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎を再確認し、応用力をつける。 ・相談援助の基盤と専門職・相談援助の理論と方法について復習し、さらに応用力をつける。 [授業全体の内容の概要] ・各教科の基本的事項を復習する。 ・問題にチャレンジして答え合わせをしながら正しい解答を覚える。 ・繰り返し問題を解いて解き方を習得する。 授業終了時の達成課題 (到達目標) ・過去問題・模擬問題を確実に解くことができる。 相談援助の基盤と専門職 7割正解 (5/7) 相談援助理論と方法 8割正解 (17/21) 高齢者に対する支援と介護保険制度 6割正解 (6/10)			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 1 ソーシャルワークの形成過程 イギリス 2. ソーシャルワークの形成過程 アメリカ 3. ソーシャルワークのグローバル定義 4. ソーシャルワークの主な機能・研究者 5. 社会福祉士及び介護福祉士法 6. 認定社会福祉士制度 7. 社会福祉士の倫理綱領・行動規範 8. 人と環境の相互作用 様々な実践モデルとアプローチ1 9. 様々な実践モデルとアプローチ2 10. 様々な実践モデルとアプローチ3 11. 相談援助の展開過程 インテーク～アフターケア 12. ケアマネジメント アセスメントツール 13. 効果測定 記録の文体 ICTの活用 14. 相談援助における援助関係 15. 面接技術 面接の留意点 16. バイステックの7原則 17. 社会資源の活用・調整・開発 18. ネットワーキング ソーシャルサポートネットワーク		36. 老人福祉法1 37. 老人福祉法2 38. 高齢者雇用安定法・高齢社会対策基本法 39. 高齢者住まい法・バリアフリー法 40. 高齢者虐待防止法・高齢者の医療の確保に関する法律 41. 高齢社会白書・生活基礎調査 復習 42. 高齢者に対する支援と介護保険制度 模擬試験問題答練・解説 43. 高齢者に対する支援と介護保険制度 過去問題・模擬問題答練・解説 44. 高齢者に対する支援と介護保険制度 過去問題・模擬問題答練・解説 45. 高齢者に対する支援と介護保険制度 過去問題・模擬問題答練・解説 46. 高齢者に対する支援と介護保険制度 過去問題・模擬問題答練・解説 47. 高齢者に対する支援と介護保険制度 過去問題・模擬問題答練・解説 48. 相談援助の基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 49. 相談援助の基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説	

<p>19. グループワークにおける展開過程 グループダイナミックス</p> <p>20. コノプカのグループワーク セルフヘルプ</p> <p>21. スーパービジョン コンサルテーション</p> <p>22. 個人情報保護法</p> <p>23. 高齢社会白書 問題作成</p> <p>24. 生活基礎調査 問題作成</p> <p>25. 介護保険制度 1 概要 改正の変遷と地域包括ケアシステム</p> <p>26. 介護保険制度 2 被保険者と保険者 関係機関とその役割</p> <p>27 介護保険制度 2 被保険者と保険者 関係機関とその役割</p> <p>28 介護保険制度 3 サービスの種類と内容</p> <p>29 介護保険制度 4 介護保険施設の種類とサービス</p> <p>30 介護保険制度 5 介護予防・日常生活自立支援事業</p> <p>31. 期末考査</p> <p>32. 介護保険復習</p> <p>33. 介護保険復習</p> <p>34. 介護過程 1</p> <p>35. 介護過程 2</p>	<p>50. 相談援助の基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>51. 相談援助の基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>52. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>53. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>54. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>55. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>56. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>57. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>58. 重要事項復習</p> <p>59. 重要事項復習</p> <p>60. 重要事項復習</p> <p>61. 重要事項復習</p> <p>62. 期末考査</p>
<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>社会福祉士国試のためのビューブック 2021 模擬試験過去問題</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<p>・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。</p> <p>2. 平常点(15%) ・時間内の模擬テストにおいて、到達目標の7割以上に達している点を評価する (15%)。</p>

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策Ⅴ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 名地 宙	実務経験	・ 病院・介護老人保健施設・デイサービス等において、ソーシャルワーカーとして勤務。 ・ 若者サポート支援センターにて、相談員として勤務。	
授業の回数 65回	時間数(単位数) 121時間(4単位)	配当学年・時期 専攻科2年・通年	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題(到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
前期 1. 地域福祉論 2. 地域福祉論 3. 地域福祉論 4. 地域福祉論 5. 地域福祉論 6. 地域福祉論 7. 地域福祉論 8. 地域福祉論 9. 地域福祉論 10. 福祉サービスの組織と経営 11. 福祉サービスの組織と経営 12. 福祉サービスの組織と経営 13. 福祉サービスの組織と経営 14. 福祉サービスの組織と経営 15. 福祉サービスの組織と経営 16. 福祉サービスの組織と経営 17. 福祉サービスの組織と経営 18. 福祉サービスの組織と経営 19. 児童・家庭福祉論 20. 児童・家庭福祉論 21. 児童・家庭福祉論		後期 1. 就労支援サービス 2. 就労支援サービス 3. 過去問等演習 4. 就労支援サービス 5. 就労支援サービス 6. 過去問等演習 7. 児童・家庭福祉論 8. 児童・家庭福祉論 9. 過去問等演習 10. 児童・家庭福祉論 11. 過去問等演習 12. 児童・家庭福祉論 13. 児童・家庭福祉論 14. 過去問等演習 15. 福祉サービスの組織と経営 16. 福祉サービスの組織と経営 17. 過去問等演習 18. 福祉サービスの組織と経営 19. 過去問等演習 20. 福祉サービスの組織と経営 21. 福祉サービスの組織と経営	

<p>22. 児童・家庭福祉論</p> <p>23. 児童・家庭福祉論</p> <p>24. 児童・家庭福祉論</p> <p>25. 児童・家庭福祉論</p> <p>26. 児童・家庭福祉論</p> <p>27. 児童・家庭福祉論</p> <p>28. 就労支援サービス</p> <p>29. 就労支援サービス</p> <p>30. 就労支援サービス</p> <p>31. 就労支援サービス</p> <p>32. 就労支援サービス</p> <p>33. 就労支援サービス</p> <p>34. 期末考査</p>	<p>22. 過去問等演習</p> <p>23. 地域福祉論</p> <p>24. 地域福祉論</p> <p>25. 過去問等演習</p> <p>26. 地域福祉論</p> <p>27. 過去問等演習</p> <p>28. 地域福祉論</p> <p>29. 地域福祉論</p> <p>30. 過去問等演習</p> <p>31. 振り返り・まとめ</p>
<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>①『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』、 発行：(株)メディック・メディア ISBN978-4-89632-763-2</p> <p>②『クエスチョンバンク 社会福祉士国家試験問題解説』 発行：メディック・メディア ISBN978-4-89632-764-9</p> <p>③『目で見て覚える 社会福祉士国試ナビ 2020』 発行：中央法規 ISBN978-4-8058-5881-3</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<p>・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%)</p> <p>・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。</p> <p>2. 平常点(15%)</p> <p>・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する。(10%)</p> <p>・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する(5%)。</p>